

有斐斎弘道館 歳末恒例

旭堂南龍

忠臣蔵講談

講談後に
特別菓子の
呈茶付き

あらすじ

大石東下り

御主君の仇、吉良上野介を討たん為、江戸へ下ろうとする大石内蔵助。しかしながら兼ねてから吉良方には警戒されており容易な事では無い、そこで道中手形も要らず役人からも改められ無いようにと、当時京都にあつて日本六十余州に名前が響き渡る、近衛関白殿の雑掌、垣見左内として名前と身分を偽つて道中をするが、あろう事か、江戸へ入る前に正真正銘の当人と鉢合わせしよう



旭堂南龍
上方講談師。2004年に旭堂南左衛門に弟子入り、「南青」となる。2008年、上方講談界で11年ぶりの真打昇進。同時に上方の名跡「南龍」を襲名。2019年大阪市「咲くやこの花賞」受賞。2021年第26回「文化庁芸術祭」新人賞、大阪府八尾市「文化新人賞」受賞。奈良検定ソムリエ級保持者。奈良市観光大使。

2025

12/7 (日)

10:00 開演

開場 9:40~

会場

有斐斎弘道館

〒602-8006 京都市上京区上長者町通新町東入ル元土御門町 524-1
最寄駅：地下鉄烏丸線 丸太町駅または今出川駅

参加費

3,500円 呈茶付

申し込み先

有斐斎弘道館事務局

E-mail: info@kodo-kan.com

TEL:075-441-6662 (受付時間 10:00-17:00)

https://kodo-kan.com/event/chushingura20251207



▲WEB申し込み



有斐斎弘道館(ゆうひさい こうどうかん)は、江戸中期の京都を代表する儒者・皆川淇園(みながわきえん/1734-1807)が創立した学問所址です。淇園は開物学という独自で難解な学問を創始する一方、詩文や書画にも優れた風流人で、門弟3千人と言われました。2009年にマンションの建設計画が持ち上がったことから有志により保存の声があり、2013年に公益財団法人となりました。建造物ならびに庭園を保存するとともに、現代における学問所の再興をめざして、活動を続けています。